

リハビリテーション部

1 構 成 員

	平成 26 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	1 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	1 人	(0 人)
診療助教	1 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	1 人	
研修医	1 人	
特任研究員	1 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	9 人	
その他（技術補佐員等）	10 人	
合計	25 人	

2 教員の異動状況

美津島 隆（病院教授）（H13.1.1~H15.10.31 助手、H15.11.1~H24.5.31 准教授、H26.6.1~現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 25 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	6 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	11.26	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	2 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	2 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Incremental shuttle walk test as a valuable assessment of exercise performance in patients with

pulmonary arterial hypertension. Irisawa H, Takeuchi K, Inui N, Miyakawa S, Morishima Y, Mizushima T, Watanabe H.

Circ J. 25;78(1):215-21. 2013. [3.578]

2. Endoperoxide 4 receptors play a role in evoking the exercise pressor reflex in rats with simulated peripheral artery disease. Yamauchi K, Kim JS, Stone AJ, Ruiz-Velasco V, Kaufman MP. J Physiol. 1;591(Pt 11):2949-62.2013.

インパクトファクターの小計 [3.578]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 整形外科疾患患者に対する回復期リハビリテーション病棟の有用性の検討
坂野 友啓, 大石 強, 鈴木 大介, 山本 和史, 後迫 宏紀, 水上 泰延, 入澤 寛, 美津島 隆
臨床整形外科 48 (9) 863-867:2013

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Blockade of B2 receptors attenuates the responses of group III afferents to static contraction.
Leal AK, Stone AJ, Yamauchi K, McCord JL, Kaufman MP . Neurosci letter 25;555:231-6 2013.
[2.026]
2. Peripheral δ -opioid receptors attenuate the exercise pressor reflex.
Leal AK, Yamauchi K, Kim J, Ruiz-Velasco V, Kaufman MP Am J Physiol Heart Circ Physiol.
15;305(8):H1246-55 2013. [3.629]
3. Attenuation of autonomic reflexes by A803467 may not be solely caused by blockade of NaV 1.8 channels
Stone AJ, Kim JS, Yamauchi K, Ruiz-Velasco V, Kaufman MP. Neurosci Lett. 24;543:177-82 2013.
[2.026]

インパクトファクターの小計 [7.681]

（２－１）論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 頭頸部がんに対する頸部郭清術前から術後 6 ヶ月後までの肩関節周囲筋の筋力
小川 元大, 佐野 哲也, 美津島 隆 国立大学リハビリテーション療法士学会誌
34 : 89-92:2013
2. がん患者の栄養状態と身体機能の推移との関係
吉倉 孝則, 美津島 隆, 赤津嘉樹 国立大学リハビリテーション療法士学会誌
34 : 75-78:2013

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-2) レター

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 徹底比較 リハ診療を支援する電子カルテ 電子カルテ NEC
永房鉄之, 美津島隆 22 (9) 906-913:2013

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 下咽頭癌はここまで治る】QOL 向上を目指して 頸部郭清術後の頸部・上肢機能リハビリテーション 瀧澤 義徳, 美津島 隆, 峯田 周幸 JOHNS 29 (6) 1046-1050:2013.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 服部リハビリテーション技術全書 第3版 蜂須賀研二編集
第12章 骨折 P828-837 美津島隆

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 25 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成 25 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	2 件	(110 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	2 件	(90 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

竹内真太（理学療法士） 80万円

森島 優（理学療法士） 30 万円

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	1 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	2 件
(4) 学会開催回数	0 件	1 件
(5) 学会役員等回数	0 件	5 件
(6) 一般演題発表数	3 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

1. Ryo Kondo, Mizue Suzuki, Masaaki Nagashima, Takashi Mizushima
EFFECTS OF DYNAMIC-INTENSIVE EXERCISE FOR HEALTH-RELATED QUALITY OF LIFE IN CHRONIC STROKE PATIENTS
WCPT-AWP & ACPT Congress 2013 (Taichung, Taiwan)
2. Masaaki Nagashima, Kazunari Enishi, Ryo Kondo, Hiroshi Irisawa, Tetsuyuki Nagafusa, Yoshiki Akatsu, Takashi Mizushima
SIX MINUTE WALK TEST AND CARDIOPULMONARY EXERCISE TEST IN PATIENTS WITH POLYMYOSITIS AND DERMATOMYOSITIS
WCPT-AWP & ACPT Congress 2013 (Taichung, Taiwan)
3. Masaaki Nagashima, Ryo Kondo, Takashi Mizushima
Long-term effect of dynamic-intensive exercise program and self-exercise for gait ability in chronic stroke patients: a pilot study with one-year follow-up
ACRM 90th Annual Conference (FLORIDA, USA)

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名 浜松医科大学附属病院リハビリテーション部
国立大学療法士会 平成 25 年 9 月 14 日 浜松市

2) 学会における特別講演・招待講演

美津島 隆 平成 25 年 9 月 14 日 場所：浜松市

国立大学療法士会 特別講演 「廃用症候群の病態と臨床」

3) シンポジウム発表

4) 座長をした学会名

日本リハビリテーション学会

日本義肢装具学会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

日本リハビリテーション学会 代議員

日本脊髄障害医学会 評議員

日本義肢装具学会 評議員

日本障害者スポーツ学会 監事

日本リハビリテーションネットワーク研究会 理事

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

1. Journal of Orthopaedic Science (2 回)

9 共同研究の実施状況

	平成 25 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 25 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道